

2011年・宮城県パート・臨時・派遣労働者連絡会
TEL022-211-7002

9月14日

パ臨連にゅーす

宮城の最賃額「1円」引き上げは 納得いかない！

と9月14日パ臨連昼宣伝

8月31日に宮城労働局が答申した宮城最低賃金改定決定額の「1円」に対して、宮城県労連は、9月8日に抗議をしました。震災が県民の生活や労働者の賃金・雇用が悪化している状況に拍車をかけ、生活再建を遅らせる大きな要因となる。生活保護費との乖離額8円の解消も1年の先送りとなった。震災からの復興をめざす宮城でこそ乖離の解消が必要である。今回の決定はこうした流れに水を差すものと指摘しています。答申は納得がいかない改めて審議をすべきである。行動に参加した人たちが口々に訴えました。チラシとティッシュを16名で配布。

あの世界の「ソニー」が被災地で大量解雇は許せない！！

仙台テクノロジーセンター（宮城県多賀城市）の事業を大幅に縮小し、期間社員など約150人全員を雇止めにしたことは許せない！とソニー労働者が仙台駅前でのパ臨連昼宣伝でチラシを配布し、マイクから訴えました。町行く人たちは、立ち止まり、横断幕を見入り、「どうしたんですか？」と関心を持って近づいてきました。また、自分もソニーで働いていた、友人が働いているとチラシを見ながら、「頑張ってるね！」と声援していきました。ソニーの労働者は、明日、欠貸し切りバスで本社行動を行います。また、支援をする会が結成される予定です。引き続き支援をしていきます。



宮城県労連第23回定期大会が9月10日開催
星千鶴子パ臨連代表が
活動について発言。

★お知らせ★

- *世話人会 10/18 (火)
11/08 (火)
- *昼宣伝 10/19 (水)